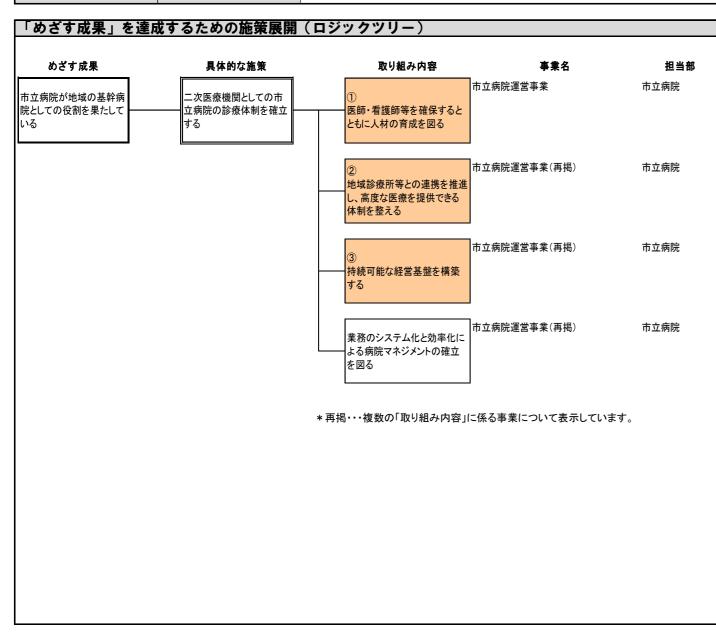
## 「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

### 1-2-2 市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている

	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち					
総合計画体系	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる					
税口引置件水		市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている					
		医療の高度化や地域連携が図られており、地域の基幹病院としての役割を果たしています。					



総合計画掲	載指標①	総合計画掲	載指標②	総合計画掲	載指標③
医師の総数		紹介率		市立病院における経常収 支率	
計画策定時 現状値	65人	計画策定時 現状値	28. 3%	計画策定時 現状値	88. 9%
実績値 (H22)	72人	実績値 (H22)	42. 9%	実績値 (H22)	100.0%
中間目標値 (H23)	79人	中間目標値 (H23)	38. 0%	中間目標値 (H23)	100.0%
目標値 (H25)	79人	目標値 (H25)	42. 0%	目標値 (H25)	100.0%

# 「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

#### 【二次医療機関としての市立病院の診療体制を確立する】 ・平成23年4月現在、正職医師は73名となり、平成22年度類

## 主な取り組み内容

- ・平成23年4月現在、正職医師は73名となり、平成22年度末に比べ2名を増員することができました。
- ・地域医療機関との連携を強化することで、平成22年度の紹介率が42.9%になりました。
- ・7対1看護基準を年間を通して維持したことで質の高い看護サービスの提供と収入の増加が図れました。
- ・病棟廊下の照明をLED化することなどにより省エネ化と経費節減につなげました。

## 構成事業に対する考え方 (事業の量及び実施手法)

・大和市立病院が地域の基幹病院として在り続けるには、健全で安定した経営のための 改善が不可欠であり、その結果、良質な医療サービスが地域住民に提供できることにな ります。そのためには、経営改善のために策定された「大和市立病院経営計画」に掲げ た緊急対策項目を早急に実行していかなければなりません。

一今後の展開方針	注). 例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、	持段の記載をしていません。
新規事業の立案	・DPC導入に向けた準備や、医師・看護師の事務作業負担軽減、NICUに施設基準取得について検討します。	( <b>該当する事務事業</b> ) 市立病院運営事業
既存事業の拡充	・診療体制の充実に対応するための職員定数見直しと 長期的展望にたった職員確保対策を推進するととも に、小児救急をはじめとする救急医療体制の充実やさ らなる施設基準の見直しと新たな施設基準の取得につ いて検討します。	( <b>該当する事務事業</b> ) 市立病院運営事業
事業の廃止・縮減		(該当する事務事業)
事業の効率化		(該当する事務事業)
その他見直し		(該当する事務事業)

施策への提言	施策への提言				
総合計画審議会記入欄	* 平成22年度に提言を受けています。				